

情報提供

令和7年2月

第10回 天塩川下流減災対策協議会

第10回 天塩川下流流域治水協議会

情報提供(流域治水対策等の主な支援事業)

国土交通省の水管理・国土保全のホームページ
<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/index.html>

「流域治水の推進」を検索
<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html>



ホーム > 政策・仕事 > 水管理・国土保全

- 災害・防災関連情報
- 国土交通省 災害・防災情報
- 水管理・国土保全 DX
- 防災課 リスクコミュニケーションポータル AGA
- ワンコイン 漏水センサ実証実験
- 洪水情報総合ポータル
- 国土交通省 防災ポータル
- 国土交通省 DIMAPS
- 国土交通省 川の防災情報
- 緊急治水対策プロジェクト
- XRAIN
- 水防協会

- ### トピックス
- 水管理・国土保全局DX **NEW!**
 - 流域治水施策集・優良事例集 **NEW!**
 - 流域治水関連法に基づく流域治水の本格的実践 **NEW!**
 - ハイブリッドダム **NEW!**
 - 流域治水プロジェクト **NEW!**
 - ワンコイン/漏水センサ実証実験 **NEW!**
 - 流域治水関連法 **NEW!**
 - 流域治水の推進 **NEW!**
 - 国から都道府県への予測水位情報の提供(水防法等の改正) **NEW!**
 - 流域治水ロゴマーク **NEW!**
 - 水害リスクコミュニケーションポータルサイト
 - NIPPON防災資産

- ### 新着情報
- 鴨瀬川水系多田川流域において「特定都市河川」の指定に向けた手続きに着手
 ~世界農業遺産「大峙耕地」の巧みな水管理と共に進める流域治水~ (2025年1月27日) **報道**
 - 令和6年は過去平均(統計開始以降)を上回る土砂災害が発生
 ~令和6年の土砂災害発生件数を公表~ (2025年1月27日) **報道**
 - 能登6市町において水道の本復旧に向けて「衛星画像を活用した漏水調査」を実施します

流域治水の推進

~これからは流域のみんなで~

近年、平成30年7月豪雨や、令和元年東日本台風(台風第19号)など、全国各地で豪雨による水害や土砂災害が発生するなど、人命や社会経済への甚大な被害が生じています。

これらを踏まえ、国土交通大臣から社会資本整備審議会会長に対して、「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について」が諮問され、令和2年7月に答申がとりまとめられました。

この答申を踏まえ、気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し、防災・減災が主流となる社会を目指し、「流域治水」の考え方に基いて、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加進するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進します。

令和元年東日本台風により甚大な被害の発生した7水系(阿武隈川、鴨瀬川水系吉田川、久慈川、那珂川、荒川水系入間川、多摩川、千曲川を含む信濃川)においては、再度災害を防止するための緊急的に実施すべき対策の全体像を明らかにした「緊急治水対策プロジェクト」に基づいて、国、都県、市区町村のみならず流域の様々な関係者が連携し、「流域治水」の考え方を取り入れた対策を先行的・集中的に実施しています。

また、7水系以外においても、どこで豪雨による甚大な災害が発生してもおかしくない状況であることから、流域全体で早急に実施すべき河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像「流域治水プロジェクト」を国、都道府県、市町村等から構成される協議会を設置してとりまとめ、国民にわかりやすく提示します。



気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について 答申

「流域治水」の基本的な考え方

緊急治水対策プロジェクト

流域治水プロジェクト

▶流域治水の考え方などは「水辺の情報案内カワナビ」でも分かりやすく紹介しています。

流域治水関連法に基づく「流域治水」の本格的実践

流域治水施策集 流域治水優良事例集 **NEW**

気候変動への対応

各地域の取り組み

流域治水施策集 Ver.2.0 水害対策編

特定都市河川を全国の河川に拡大し、ハード整備の加速に加え、国・都道府県における貯留・浸透機能の向上等を推進しています。

国土交通省では、今後の気候変動による水災害リスクの更なる増大を促すための「流域治水施策集」を作成しました。

■ 流域治水対策等の主な支援事業が70項目掲載。

流域治水対策等の 主な支援事業集

..... 2024



令和6年4月

流域治水の推進に向けた関係省庁実務者会議



3

URL: <https://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/attach/pdf/index-355.pdf> 【「田んぼダム」の取組の推進】

農業農村整備事業における「田んぼダム」の取組の推進

<対策のポイント>
水田の落水口に流出量を抑制する堰板等をとりつけ、水田に降った雨を一時的に貯留することで、実施する地域や下流域の河川や水路における水位の急上昇を抑え、浸水被害リスクを低減させる「田んぼダム」の取組を推進します。

<事業の内容>	<事業イメージ>
<p>1. 「田んぼダム」の取組に対する支援</p> <p>「田んぼダム」の取組を推進するため、調整活動や畦畔再構築等を定額で支援します。 【主な助成単価】畦畔築立 14万5千円/100m、排水口整備 4万円/箇所</p> <p>【対象事業】 農業競争力強化農地整備事業、農地中間管理機構関連農地整備事業、 国営農用地再編整備事業、農地耕作条件改善事業</p>	<p>「田んぼダム」の取組</p>
<p>2. 「田んぼダム」の効果発現に向けた支援</p> <p>「田んぼダム」の取組地域において、湛水による営農への影響を最小限にし、営農再開に向けて速やかな排水を行うため、基幹から末端までの農業水利施設の一体的な整備等を支援します。</p> <p>【対象事業】 水利施設整備事業（流域治水推進型）</p> <p>【実施要件】 ・「田んぼダム」の取組等を定めた計画を策定すること ・受益面積の5割以上で「田んぼダム」の取組が実施又は実施見込みであること</p> <p>【対象地域】 ① 流域治水プロジェクトが策定、公表された水系又は当該年度中に策定・公表される見込みの水系で実施するもの ② 治水協定の締結が完了している水系又は当該年度中に締結される見込みの水系で実施するもの ③ 地方自治体が策定・締結する防災に係る計画・協定に位置づけられたもの又は当該年度中に位置付けられる見込みのもの</p>	<p>「田んぼダム」の導入・効果発現に向けた支援</p>

14

50

URL: https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi.tk_000054.html

コンパクトシティ形成支援事業

- 立地適正化計画等の計画策定や、医療、福祉施設、居住機能の移転の促進等、コンパクトなまちづくりを推進する地方公共団体に対して、重点的な支援を実施。
- 頻発化・激甚化する自然災害に対応するため、立地適正化計画における「防災指針」の作成や、計画の定期的な評価や見直しに対して、重点的な支援を実施。

●計画策定の支援
内容：立地適正化計画(防災指針含む)、広域的な立地適正化方針、低炭素まちづくり計画、PRE活用計画の策定
対象：地方公共団体等
補助率：1/2 (人口10万人未満かつ人口減少率20%以上の小規模自治体は550万円まで全額)

●コーディネート支援
内容：まちづくりに関する専門家の活用等
対象：地方公共団体と民間事業者等
補助率：1/2、1/3

●居住機能の移転に向けた調査支援
内容：誘導区域外の災害ハザードエリアからの移転促進調査等
対象：地方公共団体と民間事業者等
補助率：1/2 (上限500万円/年)

●建築物跡地等の適正管理支援
内容：建築物跡地等の管理支援
対象：地方公共団体と民間事業者等
補助率：1/2、1/3

●誘導施設等の移転促進支援
内容：誘導施設等の除却処分等
対象：地方公共団体と民間事業者等
補助率：1/2、1/3



情報提供(治水計画の見直し)

- 温暖化の影響をあらかじめ治水計画に反映し、中長期的かつ計画的に整備を進めることとし、**順次、ハード整備の長期計画である河川整備基本方針を見直し、治水対策の強化**を行う。
- ハード整備の長期計画である河川整備基本方針は、近年の洪水で大きな流量が発生等の23水系(R6.12末現在)において、**気候変動による降雨量の増加を考慮した見直しを完了**。引き続き、各水系において見直しを推進。

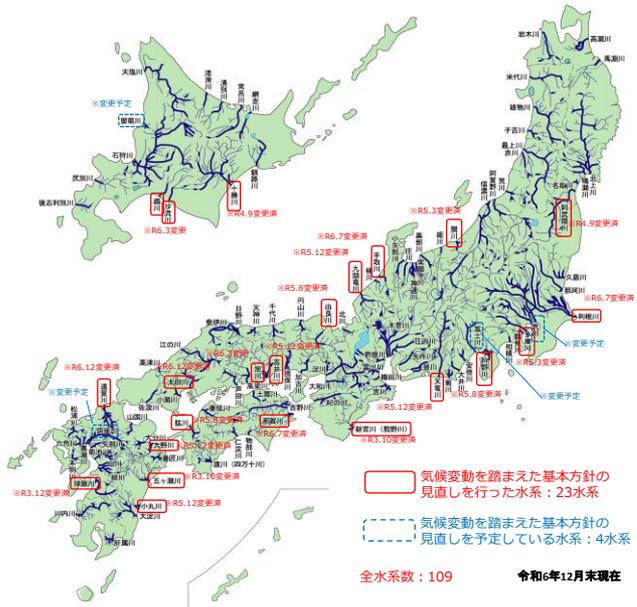
気候変動の影響を踏まえた治水計画の見直し

気候変動による降雨量の増加を考慮した見直しに着手。
現在(R6.12末時点)で合計23水系の見直しを実施。

地域区分毎の降雨量変化倍率(2℃上昇)

全国(北海道を除く)	1.1
北海道	1.15

※出典:「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」
提言 改訂版(令和3年4月)



留萌川の治水計画の見直し(見直し作業中)

■留萌川
基準地点 大和田

